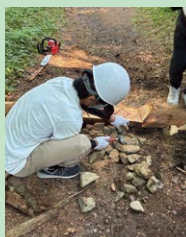


SOの活動報告

2025

2025年のSO (Sustainability Officer) の活動内容をご紹介します!

SOでは、「地域のために何ができるか」を考えながら、『Challenge and Change』をモットーに、持続可能な社会の実現に向けた様々な取り組みを行っています。2025年も引き続き、多彩な活動に取り組んでおり、その一部をご紹介します。



SDGs体験会 in 蒜山

6月24日(火) [第1日程]、6月28日(土) [第2日程]の2日間にわたり、SUENAGA Groupの有志メンバーによる「SDGs体験会 in 蒜山」が開催されました。

第1日程では、「昭和化学工業」様を訪問し、自然資源としての珪藻土の活用や、バイオマス熱風炉による再生可能エネルギーへの取り組みを視察。午後は、「蒜山ひととき」様による森林保全のレクチャーを受けた後、「三平山」登山道の整備を予定していましたが、あいにくの雨のため中止となり、「蒜山郷土博物館」様へ訪問し、地域の歴史や自然・文化について学びました。第2日程では、「真庭市くらしの循環センター まにくるーん」様にて、生ごみやし尿をメタン発酵させてバイオガス発電・バイオ液肥として活用する取り組みを学習。午後は「蒜山ひととき」様で森林保全について学んだのち、「三平山」に登り、登山道整備の体験も行いました。今回の体験会を通じて、地域や自治体・団体が連携しながら環境保全に取り組んでいる姿を知り、普段触れることのない知識や視点を得ることができました。また、他グループ会社のメンバーと交流する機会にもなり、参加者にとって非常に貴重な時間となりました。



古着deワクチン まごころプロジェクト

「古着deワクチン」とは回収した古着を開発途上国などで販売・再利用することで、現地での雇用やビジネスの創出につなげ、ワクチン提供にも役立てる取り組みです。SUENAGA Groupでも4月に第1回、7月に第2回を実施し、多くの方にご協力いただきました。次回は10月に実施予定です。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



22キットで約110人分の
ワクチンとなりました

古着deワクチンで できること

- ・専用回収キット1口につき5人分のポリオワクチンを寄付
- ・古着の輸出、販売収益の一部をワクチン提供に
- ・国内外の障がいのある方の仕事や雇用が生まれる



ひだまり保育園へ おもちゃを寄付

イドム物流が運営する「ひだまり保育園」より、おもちゃの寄付のご依頼をいただき、SOを中心にグループ全体へ呼びかけを行いました。皆様のご協力のもと、たくさんのおもちゃを寄付することができ、子どもたちからは感謝のお手紙も届きました。お手紙には、寄付したおもちゃで楽しそうに遊ぶ様子が写真付きで紹介されていました。おもちゃの寄付は現在も受け付け中です。ご家庭に眠っているおもちゃなどがありましたら、ぜひご協力をお願いいたします。